

農協と組合員をつなぐ広報誌

# なつしん



豊原地区旧豊原小学校体育館にて12月16日(日)、今年で10回目を迎えた豊原音楽祭が開催されました。会場には、子供から大人まで幅広く参加され、リコーダー、ピアノ、サクソ、和太鼓、バンド演奏など多くの音色が響きました。

  
JA中春別

## 2月号

2019 Vol. 493

# 今後の経営に活かし、 明日につながる酪農を

第10期  
みらい塾  
修了式

平成30年度第10期生みらい塾修了式が1月15日(火)、農業者団地センターで行われました。

みらい塾第10期生は3人の受講生のもと1年間に全11回に渡って講座を実施しました。農協の組織について、関係機関、各農場の協力のもと経営管理や酪農技術について、たくさんの方とを学んできました。

当日は、お世話になりました関係機関の根室農業改

良普及センター、酪農試験場、北海道酪農検定検査協会根室事業所、(二社)ジェネティクス北海道東事業所、(株)なかしゅんべつ未来牧場、(有)中春別マシセンターの来賓の方々のご臨席の中、小湊塾長よりご挨拶をいただいた後、来賓を代表して根室農業改良普及セ

ンター・嶋野所長よりお祝いの言葉をいただきました



小湊塾長より修了証を受け取る奥山嶺平さん



小湊塾長より修了証を受け取る山田侑甫さん



小湊塾長より修了証を受け取る佐々木淳司さん



第10期生を代表して感謝を述べる佐々木淳司さん



た。  
その後、修了生の3人は小湊塾長より修了書を受け取り、修了生を代表して中春別地区の佐々木淳司さんより「みらい塾を通じて1年間学んだこと、お世話に

なつた関係機関、また、農家の皆様にはとても感謝をしています。ありがとうございます。今後の経営に活かしていきたい」と力強い言葉をいただきました。

# 第10期みらい塾 受講生修了レポートを紹介

## みらい塾を終えて



奥山 頌平

この1年間みらい塾を通して、農協のこと、関係機関、酪農の基礎知識のことがたくさん学ばれました。

私は、もともと別海町の出身ではなく札幌の出身であり、酪農業に興味があり、こちらの農家さんのもとで働いておりました。そ

して、縁あって婿養子として今の奥山牧場で後継者として携わることとなりました。そんな中、農協のみらい塾のことを知り第10期生として酪農について学ぶ機会をいただきました。

始めに農協組織について学び、農協のあり方や各部署の役割など様々なことを知ることができたと同時に、職員の大変さにも気が付きました。また、思い出のひとつとして、3月に農協職員の方と札幌方面に視察に行き、農業機械関係、飼料関係、農場視察と普段見



ること、体験することのできないことを体験させてい

## みらい塾を終えて



山田 侑甫

今回、みらい塾の第10期生として参加した理由は農協の方に誘われたのがきっかけでした。

正直、最初はめんどくさ

いと思っていました。自分も普段から経営に携わっていたため、学ぶことなんて正直少ないとも思っています。



した。ですが、農協事業についてや、関係機関の講師の方々に話を聞き、自分の知らないことや、自分たち酪農家の手助けをしてくれていることに改めて気付きました。

また、3月に行った札幌への視察では(株)カーム角山に行きましたが、規模の大きさに酪農の可能性を感じました。地区内の農場へ視察にも行きましたが、自分

ただき、有意義な時間となったことを今でも覚えていいます。近隣農家さんの農場もみらい塾を通じて見学させてもらい、私にとってプラスとなることばかりでした。

関の皆様、視察を受け入れてくださった酪農家の皆様には感謝しております。今回学んだことを、今後の経営に役立てて頑張りたいと思いますのでこれからも、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

また、農協職員や関係機関、塾生の人たちとも関係を深めることができて、とても充実した1年間となりました。

最後にお世話になりました農協職員、関係機

とは違う経営手法や考え方に視野が広がりました。

1年間通じて、いろいろな人達とも交流ができたと思っております。

この繋がりを大切に、これからの酪農経営に努めていきたいと思っております。

農協職員、関係機関、酪



農家の皆様にはこれからもお世話になると思いますが、引き続きご指導のほど、よろしくお願いたします。

## みらい塾を終えて



佐々木淳司

まず始めに、今回みらい塾を通じてご指導して下さった農協職員、関係機関、酪農家の皆様にはお忙しい中、僕たちのために酪農に関するご指導、また、いろいろな人たちとの繋がりを作っていただいたことに感謝しております。

みらい塾第10期生として、今回3人の塾生たちでスタートし、人見知りな僕でしたが年も近いということもあり、すぐ打ち明けることができました。始めに農協組織について学ぶ機会があり、正直農協という組織がなにをやっている、どういう部署があるかあまり把握しておりませんでした。今回の講義を通じて知る事ができ、また、大変さにも気付くことができました。

3月には営農部の職員の方々と札幌方面へ視察に行かせていただきました。MSK農業機械(株)、カーム角山、雪印種苗(株)と普段見ることができないため、凄く勉強になりました。特に(株)カーム角山の規模の大きさにびっくりし、自分の農場と比べた時に、とてもじゃないけど到底まねできないと感じました。関係機関の皆様の講義も

大変勉強になりました。(一社)ジェネティクス北海道の乳牛改良について、酪農試験場の高収益酪農経営に向けた経営手法について、酪農検定検査協会の乳検データ活用方法について、(株)中春別マシンセンターの農業機械の整備について、根室農業改良普及センターの繁殖管理についてと、たくさん知識を得ることができました。



地区内の農場視察でも、自分の経営とは違う形での農場経営を実際に見てきて、取り入れることができれば自分の農場ももっと発展していくと思えました。今回、長雨による収穫作業の遅れや、地震による停電等の影響もあり、みらい塾としては出来ませんでした。

が、一つ一つのみらい塾の講座が僕にとっては大変勉強になり、良い思い出になりました。今回、学んだことを忘れずに、経営に携わっていきたいと思いますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしく願います。

# 更なる発展を目指して、 酪農の技術を身につけたい

第11期  
みらい塾  
入講式

第10期生みらい塾修了式終了後、平成31年度第11期みらい塾入講式が行われ、新たに第11期生として学ぶ3人が紹介されました。



第11期生みらい塾生として入講式に臨む3人の塾生



第11期生を代表して「酪農技術を習得し、更なる発展のため頑張る」と抱負を述べる西原康陽さん

小湊塾長より式辞をいただき、酪農試験場の原場長より激励の言葉をいただき、第11期生を代表して美原地区の西原康陽さんより、「みらい塾を通じて酪農技術を習得し、更なる酪農発展のために頑張りたい」とこれからの意欲を語っていただきました。

式辞を述べる小湊塾長



## 平成31年度 第11期みらい塾入講式



を挟み、団地センター研修室にてオリエンテーションを行い、受講にあたっての心構えや受講内容について説明を受け、今後、学びたいことなど塾生同士で話し合い、今後について決めました。

その後、代表選出により美原地区の西原康陽さんが

第11期生みらい塾代表に決定いたしました。

今後みらい塾では1月から12月の間、定期的に行われる講座を通じて、農協運営事業、関係機関訪問、農場視察といった内容について積極的に学び、酪農の技術、知識の習得に向けて行いきます。

# 第11期みらい塾プロフィールを紹介します

美原地区



★ 西原 康陽(にしはら こうよう) (24歳)  
 (有)アークスファーム組合員

★ 生年月日

平成6年9月12日

★ みらい塾に応募したきっかけ

酪農技術や知識を習得するため

★ 趣味

野球

★ 将来の夢

安定した酪農経営

★ 皆さんに一言

1年間よろしくお願ひします。

美原地区



★ 西川 寛樹(にしかわ ひろき) (24歳)  
 西川寛稔組合員

★ 生年月日

平成6年12月12日

★ みらい塾に応募したきっかけ

知り合いに勧められて

★ 趣味

車、ゲーム

★ 好きな言葉

「楓」

★ 将来の夢

規模拡大

★ 皆さんに一言

1年間よろしくお願ひします。

中春別地区



★ 佐々木 克典(ささき かつのり) (34歳)  
 佐々木克典組合員

★ 生年月日

昭和59年12月26日

★ みらい塾に応募したきっかけ

知り合いに勧められて

★ 趣味

読書

★ 好きな言葉

二期一会」

★ 将来の夢

未来に続く農業経営

★ 皆さんに一言

実りある1年にしましょう。



根室農業改良普及センター  
**営農対策情報**

# 排水改善の取り組み紹介

春先の融雪水や大雨がほ場内の停滞水となり、作物の生育や管理作業に悪影響を及ぼしています。普及センターでは、根室振興局農村振興課や酪農試

験場、JA中標津と連携し、ほ場の排水改善対策の取り組みを進め、効果の検証と優良モデルの波及により、地域の作物の生産性向上を目指しています。

## 1 排水改善の施工経過(平成29年度施工)

中標津町内の畑数カ所で①明きよ、②カットソイラー、③縦孔暗きよの試験を実施。



写真1 ①明きよと②カットソイラーの施工



写真2 ③縦孔暗きよの施工

②カットソイラーとは  
 暗きよの働きを助けるため補助的な水みちを施工する機械です。  
 ③縦孔暗きよとは  
 ほ場表面から縦穴を開け、下層への水みちをつくる技術です。

## 2 排水性モデルほ場(ばれいしょ畑の縦孔暗きよ試験)の調査(平成30年)

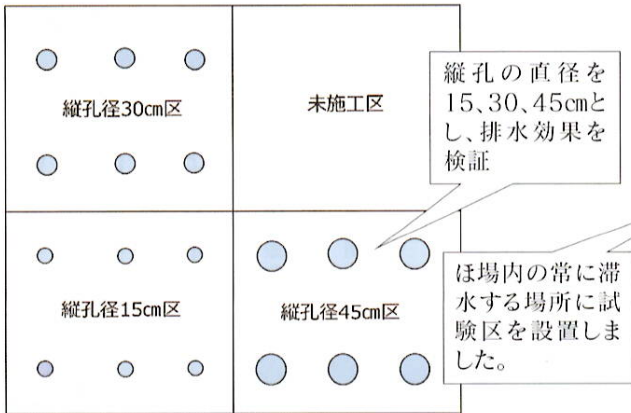


図1 縦孔暗きよ試験区の図面

試験区のばれいしょを調査した結果、「茎長」と「でんぷん価」は、縦孔施工区の平均値が未施工区を上回りました。縦孔径と収量性の検証には更なる調査が必要のため、今後もデータの蓄積に努めます。

| 区分    | 茎長 (cm) | でんぷん価 (%) |
|-------|---------|-----------|
| 施工区平均 | 33.5    | 16.1      |
| 未施工区  | 32.7    | 15.6      |



10日後



写真3 試験区の滞水状況の推移

## 3 今後の調査(平成31年度)

平成31年度は、「平成30年の秋に新規施行した「カッティングドレーン」の効果検証について継続して行います。カッティングドレーンとは、深さ90cmの位置に幅10cmの空洞を作る無材暗きよ工法です。



# 若い力を集結し、更なる飛躍に向けて

## JA中春別青年部 新年交礼会

新年を迎え、農協より小湊代表理事組合長をはじめ多くの来賓の方々、中春別酪農対策協議会より伊藤会長、別海町議会より西原町議にご出席をいただき、青年部新年交礼会を1月10日(休)に北平系会館にて盛大に開催いたしました。

西原町議より新年のご挨拶をいただきました



新年の挨拶と青年部活動の益々の活躍を期待する小湊代表理事組合長

片岡副青年部長による一本締め



新年交礼会にあたり挨拶と今年1年の活動を述べる野矢青年部長

と、日々の営農や酪農情勢といった仕事の話や、プライベートな話に華を咲かせ、終始賑やかな雰囲気の中、交礼会が進められました。

最後に片岡副青年部長より青年部活動を通じた農業・地域の活性化を祈念し、一本締めにて新年会は閉じました。

開催にあたり野矢青年部長の挨拶、小湊代表理事組合長、西原町議より新年のご挨拶をいただき、伊藤酪対会長の乾杯の音頭で開始いたしました。

乾杯と共に食事を楽しみながら、新年初顔合わせの部員同士やご出席いただいた来賓の方々と、



伊藤酪対会長の乾杯の音頭で新年交礼会が始まりました

### 多くのご注文ありがとうございました

今年度は、なかしゅんミルクロール・ゴッター

て発送されました。

発送作業には青年部・女性部合わせて12人が集まり、一つ一つ真心を込めて丁寧に梱包作業を進めて全国各地に向けて

た。

青年部・女性部オリジナルお歳暮セットの発送作業を、(株)べつかい乳業興社さまのエントランスホールをお借りして12月4日(火)に行いました。

### 青年部・女性部オリジナルお歳暮セットお礼と結果報告





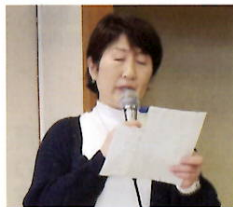


別海町郊楽苑にて1月23日(水)に女性部新年交礼会が開催されました。

新年早々、参加者の笑顔で  
たくさんの福を呼びこみました

中春別農協女性部 新年交礼会

農協より小湊代表理事組合長をはじめ、西原町議、酪対より伊藤会長を招いての開催となりました。小湊代表理事組合長、西原町議より挨拶をいただき、伊藤酪対会長の「乾杯！」の発声により始まった新年会。用意された料理を仲良く取り分けながら、久しぶりに顔を合わせた部員同士の会話が弾みます。



挨拶を述べる藤原女性部長



伊藤酪対会長による乾杯の音頭



食事がひと段落したところで恒例のゲーム大会が始まり、値段当てゲームではなんと1円差の回答が！会場からは歓声と拍手がおこりました。ビンゴ大会では全員がハズレなしで景品を獲得することができました。時間いっぱい楽しい時間を過ごし、終始笑いが絶えない新年会となりました。



フロマージュのAセット、乳業興社乳製品のBセット、チクレンハンバーグ・乳ぼた餃子のCセットの3セットの内容といたしました。

各セットの結果はAセット63セット、Bセット106セット、Cセット118セット。注文総数287セットとなりました。沢山のご注文ありがとうございました。来年度以降も、青年部・女性部共に協力し合い、さらなる消費拡大を図ってまいりますので、ご協力の程よろしくお願いたします。

# 更なる乳牛改良を目指して

中春別乳牛改良同志会第31回定期総会が1月18日(金)、白樺食堂において開催されました。

総会開催を前に、平成30年度新規エクセレント獲得、並びに特別賞授賞式が行われ、新規エクセレントを獲得



会員の皆さん、関係機関の方々とのお睦まじりがはかられた懇親会

得された山田光男さん、宗像卓朗さん、寺澤佳吾さん、山田ひろみさん、久保光夫さん、中西貴司さんに記念品が贈呈されました。

総会の開催にあたり竹田潤会長より1年を振り返った挨拶が述べられました。引き続き農協を代表して小湊代表理事組合長、来賓の方々を代表して(一社)ジェネティクス北海道



6頭の新規エクセレントを表彰

道東事業所次長間木野尚司様よりご祝辞をいただきました。

議事進行にあたり中春別地区の佐々木靖裕さんが議長に選任され、議案第1号から議案第5号まですべて可決・承認されました。今年には役員改選の年であり、



役員選考委員の宗像宏充さん



就任の挨拶を述べる寺澤佳吾新会長

役員選考委員の美原地区・宗像宏充さんより役員選出案が発表されました。

## 新会長に寺澤佳吾氏が就任

平成12年より役員を務めてきました美原地区の山田光男さんが退任され、新たに美原地区の山田祐甫さんが役員に加わりました。互選の結果、新会長には中春別地区の寺澤佳吾さんが就任し、新たな役員体制は次の通りとなりました。

会長 寺澤 佳吾  
副会長 久保 光大

理事 宗像 卓朗  
牧野 修二  
高橋 学

代表監事 山田 晃嗣  
山田 祐甫

監事 浮川 優  
竹田 潤

総会終了後、寺澤新会長より「今まで先輩方が作ってきた同志会を守りつつ、新しい技術、情報を取り入れながら活動を展開していきたい」と就任の挨拶がありました。

その後、懇親会が行われ、会員及び関係機関の方々との親睦が続き、盛会の内に終了することができました。



第37回 未経産クラス (10カ月~11カ月)

# 写真コンテスト結果発表

中春別乳牛改良同志会主催で行いました第37回写真コンテスト予想投票は、多数の応募がありました。

序列付けを(一社)ジェネティクス北海道道東事業所の児玉和也さんをお願いし、**正解は、C→D→F→E→B→A**となりました。

残念ながら全問正解者はいませんでした。抽選の結果、御代諄さん、南あずきさん、山田直樹さん、武内美帆さん、佐々木貴子さん、石黒瑞歩さん、内山潤一さん、目黒真由さん、能登華さん、成田恵美さんに賞品を贈呈致しますのでJA中春別畜産課畜産指導係までおこし下さい。

## 《講評》

1位と致しましたC号牛は6頭の中で最も輪郭鮮明で乳用性に富んでおり、中軀においては肋の方向、肋間の幅に優れ、体の深さを兼ね備えています。2位のD号牛と比較しても、より輪郭鮮明で乳用性に富み、中軀の充実、体の深さにおいて優れています。

2位のD号牛と3位のF号牛の比較では、D号牛の

方がより頸が長く、前軀から中軀への移行がスムーズであり、特に飛節がより鮮明でした。

3位のF号牛と4位のE号牛は接近しておりますが、F号牛の方がより頸が長く、尻の構造に優れ、特に腰角から坐骨への角度が理想的だと判断しました。

4位のE号牛と5位のB号牛の比較ですが、E号牛の方がより胸が深く、強健性に富み、中軀の長さにおいて優れていました。

5位のB号牛と6位のA号牛の比較ですが、B号牛の方がより輪郭鮮明で乳用性に富んでいます。しかしながら、A号牛は胸が深く、強健性に優れていると判断致しました。

この度は審査講評させていただく機会をいただき、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。写真コンテストでの審査は初めてであり、拙い講評になってしまいましたが、この経験を今後さらに生かして勉強していきたいと思っております。ありがとうございました。

1位 C



2位 D



3位 F



4位 E



5位 B



6位 A



# Toyohara Music festival

## 希望の未来へと 音楽でつながる

旧豊原小学校体育館で12月16日(日)、豊原音楽祭が開催されました。



今回で10回目となる豊原音楽祭、会場には地域の人たちやJA職員など豊原に縁のある人たちが集いました。

保育園児たちによる歌と楽器演奏が始まると、会場の前列には我が子を写そうと、カメラやスマホを片手に父兄が陣取りました。

その後、中春小リコーダー同好会による全道大会への出場曲、ピアノ演奏などが披露され、会場に響き渡りました。また、JA職員とその仲間によるサクソファンサンプルでのクリスマスメドレーに、クリスマスモード

が会場いっぱいになりました。

後半のスタートは酪青研バンドによるバンド演奏、アップテンポな3曲が披露されました。ピアノ&クラリネットのアンサンブルは聴く人を魅了。その後、「チーム響」が迫力あふれる「響青乱太鼓」を披露。和太鼓の音が会場に響きました。

最後は「MOM」によるバンド演奏。例年、覆面をつけての演奏でしたが、女性メンバーの参加もあり、今回は素顔でステージへ。2曲披露し、豊原の冬の恒例行事「音楽祭」が幕を閉じました。

音楽祭をとおして豊原地域が一丸となり、つながり、地域の輪が広がりました。参加された皆さんお疲れ様でした。



# JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

## JA北海道中央会

JAグループ北海道は平成30年12月17日に、北農ビルで9月に刈り取った稲の脱穀やしめ縄づくりを行いました。田植えから稲刈りまで、1年を通して行ってきた食育活動「街なか田んぼ」の最終回として、中の島興正保育園の園児10人が参加し、園児自らが茶碗を使って稲を脱穀、すり鉢で粉すりをした後、精米機を使って精米まで行いました。ご飯が炊けるまでの間、稲わらを使ったしめ縄づくりも体験。最後は炊きたてのご飯でおにぎりを握り、自分たちが作ったお米を味わいました。

### JAグループ北海道

道は、これからも農業体験を通じて食と農の大切さを子供たちに伝えて参ります。



## JA北海道信連

昨年12月に、地域貢献活動の一環として、サンタクローズに扮したJAバンクのキャラクター「ちよリス」が、被災地のむかわ町、厚真町、安平町と釧路市・中標津町の幼稚園など10カ所を訪問しました。

園児らと野菜しりとりゲームやダンスなどで楽しく交流し、最後にちよリスからクリスマスプレゼントを贈りました。地震により被災した地区の子供達も、ちよリスとの触れ合う時間を楽しんでいました。



## ホクレン

ホクレンは、冬にうれしい北海道かぼちゃ「りょうおもい」をアピールするイベント「冬至には「りょうおもい」を食べよう！」を昨年12月15日、札幌市清田区のイオン札幌平岡店で開きました。同店の青果売り場で「りょうおもい」を販売するとともに、(株)もりもとの協力を得て、「りょうおもい」を使用したせんざい1000食を正午から、15時からの2回に分けて来店客に提供しましたが、それぞれ1時間ほどで終了する盛況ぶりでした。



## JA共済連北海道

2月4日から11日まで開催される「第70回さっぽろ雪まつり」大通会場4丁目にて、「平成30年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」の入賞作品63点を展示します。交通安全に対する願いが描かれた小・中学生の皆さんの力作をぜひご鑑賞ください。

JAとJA共済連北海道は、今年もさまざまな地域貢献活動に取り組んでまいります。



## JA北海道厚生連

12月18日(火)札幌厚生院小児科病棟にてクリスマス会が開催され、コンサドーレ札幌の深井選手と菅選手、ドーレ君、コンサドーレズが病院を訪問されました。この企画は、JAグループ北海道と北海道フットボールクラブとの相互協力協定に基づき、食育とスポーツ文化、地域文化振興にかかわる事業の一環として行われ、今年が二回目となります。プロ選手を目の前にして、緊張気味の子どもたちでしたが、PK合戦やダンスで緊張もほぐれ大いに盛り上がり、満面の笑みを浮かべていました。



・NZの酪農に対して放牧中心の酪農という古臭いイメージを持っていたが、全く違っていった。土壌や牧草の成長度合などをデータ化(数値化)し、詳細に分析したうえ



放牧の様子

で飼料設計を行っていることなど、想像よりも手間と労力を使った酪農を行っていると感じた。(大内)

・なんでも手をかければいいというわけではないと知った。牛目線ではなく人目線で仕事をする方法があると知った。(川代)

・日本と比べると大規模で牛もマイペースに過ごしているのが印象的だった。また経営も極力出費を抑えた低コスト感覚が徹底していて、気候、風土もあると思うが道具や機械を大事に使うことは大切だと思った。(田中)

#### 今後の展望

・前搾りをしないことや大量哺乳は日本でも活かそうだと思った。(石黒)

・NZで経験した放牧酪農をそのまま我が家に取り入れることは難しいが、経費を極力抑えた経営の考え方は取り入れられる部分があると思った。今後は無駄を省き、シンプルで人・牛双方にストレスの少ない経営形態を考えていきたい。(大内)

・楽に出来る所は楽にするなど、全部NZの方法が出来るとは思わないが、出来るところは取り入れて将来新規就農出来るように頑張りたい。(川代)

・今回の経験を活かして草地、牛群管理に力を入れていきたい。(田中)

#### まとめ

今回の実習を通して、NZの酪農のスケールの大きさに圧倒されました。「百聞は一見に如かず」といいますが、実際に自分の目で見て、1つ1つの光景に驚かされました。実習中は、生活に慣れるのが最初は大変でしたが、仕事は日本でもやっているのので英単語やアプリなどを使って教えてもらいました。規模も経営体系も違うNZの酪農に触れて、改めて酪農の奥深さを知る事ができました。

最後に、今回お世話になったNZの農場の方々、現地エージェントの杉本さん、別海町酪農後継者を育てる会、別海高校農業特別専攻科、両親、日本の親方、研修にご支援ご協力いただいたすべての皆様はこの場を借りて心からお礼を申し上げます。

報告者：農業特別専攻科2年 川代 凱斗

### ●【経営科】東北道実績発表大会

1月16日(水)～17日(木)に、東北道学校農業クラブ連盟実績発表大会が美幌高校を当番校として美幌町民会館びほーるにて開催されました。

大会は、プロジェクト発表分野(特)類から(企)類までと、各高校の農業クラブ活動の発表がおこなわれました。分野(特)類は生産・流通・経営に関する発表、(監)類は開発・保全・創造に関する発表、(企)類はヒューマンサービスに関する発表がおこなわれ、本校からは(特)類と(監)類にそれぞれ1発表ずつとクラブ発表について合計12人が出場し、どの分野のチームも冬季休業中登校して、資料作成や発表練習をおこないました。大会当日は十勝、釧路、オホーツクから8校144人が参加し、分野(特)類から(企)類までのプロジェクト発表と、クラブ活動発表の全34発表がこの1年間の研究や活動の成果を競いました。発表に参加した4つのグループのうち、(特)類に出場したチームが見事優秀賞を獲得し、1月30日(水)から名寄にておこなわれる全道大会に出場します。



出場した生徒達

参加生徒は今回の大会をとおして、課題解決について取り組んだ成果を発表する経験を積むとともに各研究や農業クラブ活動への取り組みをさらに深めることができた様子でした。

### ●【経営科】現在の進路状況

今年度も卒業が近づいてきました。3年生の進路は、14人全員が合格もしくは内定を得る事ができました。すぐに就農する生徒はいないものの、酪農関連産業やその他畜産、食品関連産業、建設関係への進路が多く、近年の就職について、求人数が比較的堅調であることもあり、どの生徒も目標通りの就職を叶えることができました。産業教育で培った成果を十分発揮してくれるものと思われます。

今年も含めると酪農経営科の卒業生の就職内定率は9期連続で100%となります。ご支援いただきました関係者のみなさまに厚くお礼申し上げます。なお、詳細は、次のとおりです(1月21日現在)。

【進学】 北海道科学技術専門学校、ベルエポック製菓調理専門学校

【就職】 道東あさひ農業協同組合、菅野建設、タイヨー建装、ASAHIサポートセンター、道東ファームサポート、ウッドークラフト、三ツ星レストランシステムズ、岩浅測量設計、はなまる中標津店、ブライトピック他

# 北海道別海高等学校 酪農経営科・専攻科だより

## 【専攻科】ニュージーランド研修から帰国!

平成30年9月27日～11月23日までの58日間、農業特別専攻科学生4人がニュージーランド(NZ)研修に参加しました。以下はその報告です。

今回の研修では、オークランドから車で2時間程度離れたロトルアという町の農場に滞在しました。



空港での出発式

ロトルアには世界三大温泉の一つである、「泥の温泉」ヘルズゲートがあります。

農場は草地が104haで放牧地兼一部採草地として使われており、49のパドックに分けられていました。搾乳牛385頭、育成牛80頭を飼養しており、NZでは中規模経営の農場になります。マネージャーはデュランさんと言う方で、NZ人の従業員が1人おり、その人が休みの時は奥さんが手伝っていました。



オークランド

牛はフリージアン種(ホルスタイン種)が大部分を占めておりジャージー種、キーンウィークロスも飼養していました。飼養形態としては常時放牧を行い、私が行った時期には放牧地にカルシウム、マグネシウムなどのミネラルをまいていました。



パーラーへの移動

子牛は生後1週間簡易の育成舎で飼養し、その後子牛用のパドックに放し、哺乳とパルプ(ペレット状)飼料を与えていました。週に一度ミルクを給与後に体重測定をし、キーンウィークロスは85kg以上その他は90kg以上で離乳していました。NZの牛は日本の牛よりもかなり小さく、成牛でも日本の育成牛ほどの大きさで、牛群は健康な牛と脚の悪い牛や乳房炎に罹患した牛の2群分けられていました。健康な牛は朝晩の2回搾乳で足の悪い牛、乳房炎の牛は朝のみの搾乳でした。乳房炎罹患牛は非常に少なく、搾乳牛385頭中抗生物質による治療牛は1頭いるかいないかでした。



子牛の哺乳の様子

私の研修先の乳房炎に関するルールは、1回目・

バケツで搾って直す&薬を投与、2回目・プチ乾乳を3日間する、3回目・搾らない(3本乳にする)と言う様に明確に分けていました。最初は大変でも、いずれは体細胞数が低い牛が揃うので、リスクもありますが良い方法だと思いました。

1頭あたりの平均乳量は15kgほどでした。NZでは日本と違い、乳価を乳固形分【ミルクソリッド】の割合で算出します。2018年のミルクソリッドの単価は6.5NZドル(乳脂肪kg+乳蛋白質kg)で、生乳は1kg当たりの乳価で取引されており、訪問時の生産単価は6.5NZドルでした。日本式に計算すると40円/Lになります。搾乳牛1頭の一年間の平均乳量は3,600kg、乳脂肪は平均4.7%、乳タンパクは平均4.3%程度で、体細胞数は約8万個でした。



搾乳の様子

搾乳施設は片側27頭収容のヘリンボーン式スイングパーラーでした。10月14日から授精が始まり、毎朝の搾乳中に発情の発見をし、朝の搾乳後に人工授精師による人工授精が行われていました。それを1カ月続け、次に2週間放牧地に種牛を放し最後に2週間人工授精をします。

実習中の主な仕事は搾乳、搾乳舎の洗浄、人工授精のサポート、子牛の給餌、日中は除草剤散布、農場内の片づけ・清掃など、管理作業を行いました。子牛が成長してくるとグループごとにパドックへ移動させる作業も行いました。午後は大体5時前には終了し、その後は夕食、自由時間となりました。



人工AIの様子

生活していて、NZの風景は少し北海道に似ているなど感じましたが、道が広く、草地も勾配が急なところが多い印象を受けました。森林は日本とは違い凄く大きく、雪が降らず暖かいので木の成長が早いということです。本当に森林の大きさには圧倒されました。そして町並がとても洗練されていて綺麗でした。

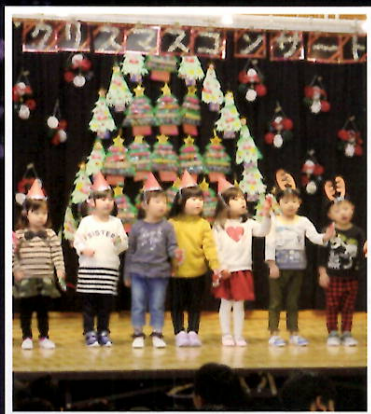


子牛の体重測定の様子

ニュージーランド研修から学んだこと  
・乳量より長命連産を重視。牛にも人にも負担が少ない。放牧の方法、草地の使い方が考えられている。(石黒)

Merry Christmas

# みんな大好きクリスマスソング 男の子がサンタさんで登場!



中春別保育園第4回クリスマスマスコ  
ンサーが12月21日(金)、保護者が見  
守るなか開催されました。

始めに、ひよこ・ことり組による歌「わらの中の七面鳥」と「クリスマスメドレー」。サンタクロースの帽子とトナカイの角を頭につけた、可愛らしい姿で歌いました。

2番目には、はな組による遊戯「はな組の男の子がサンタクロース?」では、クリスマスソングの定番「恋人はサンタクロース」の曲に合わせて踊っている女の子たちの前に、サンタクロースに扮した男の子たちが登場し、大きく盛り上がりました。

3番目は、ほし組によるピアノ演奏「きらきら星」と、有名なクリスマスソング「ウィンターワンダーランド」を歌いました。ピアノ演奏では、2つのパートに分かれて演奏、年長のほし組だけあつて、「上手な演奏だなあ」と感心しました。

4番目には、全園児による歌「あわてんぼうのサンタクロース」。大きな声で元気いっぱい歌いました。

歌い終わると、園長先生による「先生方の苦手な食べ物」の話に。「先生たちも苦手な食べ物はあるけれど、給食は残さずちゃんと食べてるから、みんなも苦手なものが給食に出ても頑張って食べてほしい」と園児たちに話しかけました。

最後に、先生方による「手遊び」によるパフォーマンス。カラフルな手袋を使ったパフォーマンスに、園児たちも見入っていました。







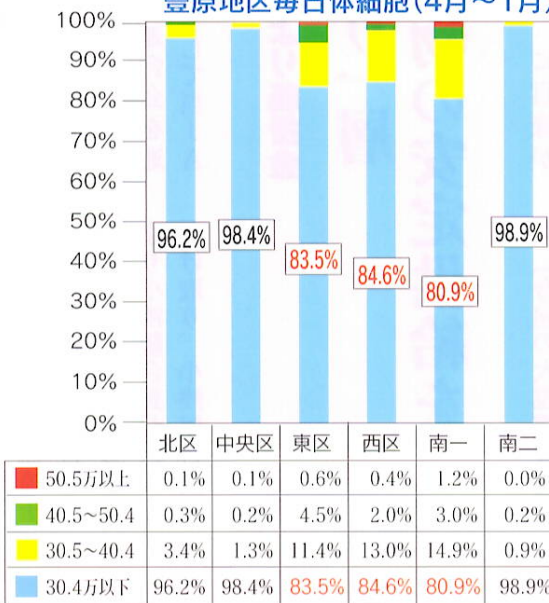
生乳汚染事故を無くせよう！

- 抗生物質混入事故……………JA中春別発生件数 **5**件 管内合計では**12**件です。
- 生菌による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では**4**件です。
- 異物混入、加水、血乳による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では**3**件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では**2**件です。

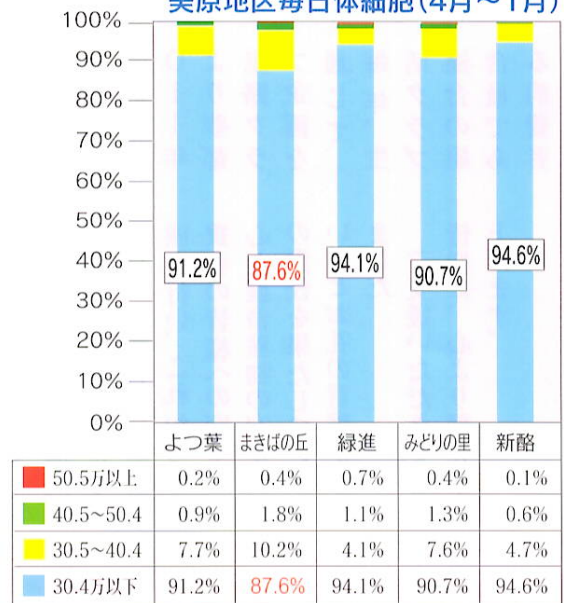
## 気をつけよう！ほんとにほんとに気をつけよう！

良質生乳生産推進委員会からの標語

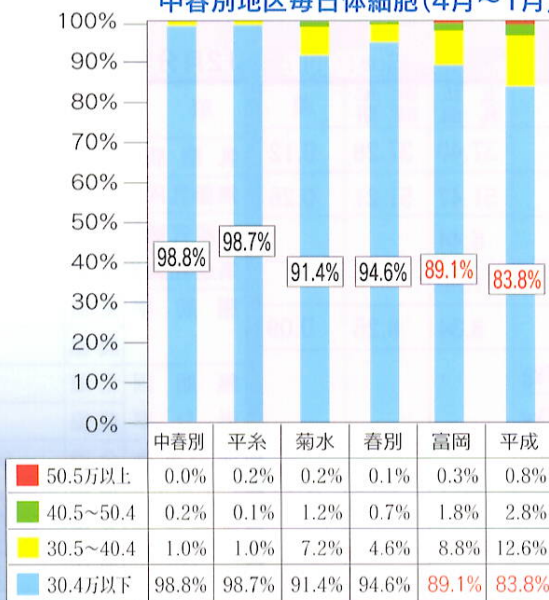
豊原地区毎日々体細胞(4月～1月)



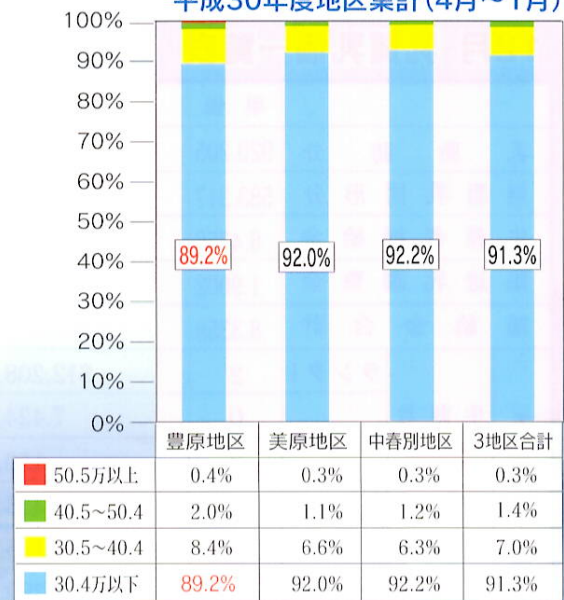
美原地区毎日々体細胞(4月～1月)



中春別地区毎日々体細胞(4月～1月)



平成30年度地区集計(4月～1月)



# 北海道チクレン農業協同組合連合会より義援金 ご支援に感謝し、より一層 安全・安心な農畜産物の安定供給を

生活クラブ事業連合生  
活協同組合連合会では、  
被災した提携生産者や会  
員単協への支援および被  
災地への支援として、昨  
年、発生した西日本豪雨・  
台風21号・北海道胆振東  
部地震への支援活動を実  
施しており、生活クラブ  
連合会をはじめ、全国開  
拓農業協同組合連合会、  
全日本開拓者連盟、公益  
社団法人全国開拓振興協  
会より北海道チクレン農  
業協同組合連合会を通  
じ、義援金として当JA  
が当地域を訪れ、我々生  
産者と交流を深めており  
ます。  
12月27日(木)に北海道チ  
クレン農業協同組合連合  
会の伊藤理事(兼参事)  
より小湊組合長が目録を  
受け取り、小湊組合長か



北海道チクレン農業協同組合連合会の伊藤理事より小湊組合長へ義援金の目録が授与されました

に目録が授与され  
ました。  
生活ク  
ラブ連合  
会とは2  
011年  
より夢都  
里路クラ  
ブ企画を  
通じて、  
毎年、生  
活クラブ  
連合の組  
合員であ  
る消費者  
ら「今回の大規模停電は  
まさに想定外の事態であ  
り、当地域においても生  
乳廃棄の被害や乳房炎な  
どの影響が発生いたしま  
した。生産者が持続的生  
産を行い、これからも消  
費者の皆様への安全・安  
心な農畜産物の安定供給  
の責任を果たしていきたく  
い」とお礼の言葉があり  
ました。  
ご支援いただきました  
皆様に、心より御礼申し  
上げます。

## 12月 乳質乳価一覧表

(単位:円/)

|             |      | 単価      | 算出基礎 | 支乳              | 前年     | 差     |      |
|-------------|------|---------|------|-----------------|--------|-------|------|
| 乳脂肪分        |      | 920.205 |      | 37.40           | 37.28  | 0.12  |      |
| 無脂乳固形分      |      | 583.317 |      | 51.47           | 51.21  | 0.26  |      |
| 生産者補給金      |      | 6.4356  |      | 6.44            |        |       |      |
| 集送乳調整金      |      | 1.9002  |      | 1.90            |        |       |      |
| 補給金合計       |      | 8.3358  |      | 8.34            | 8.25   | 0.09  |      |
| 乳質単価        | 生菌数  | ランク1    | 2    | 312,208,386.7kg | 3.76   | 3.75  | 0.01 |
|             |      |         | 0    | 7,424,316.7kg   |        |       |      |
|             |      |         | -3   | 150,219.8kg     |        |       |      |
|             | 体細胞数 | ランク1    | 2    | 282,456,705.1kg |        |       |      |
|             |      | ランク2    | 1    | 20,045,372.5kg  |        |       |      |
|             |      | ランク3    | -2   | 3,390,312.6kg   |        |       |      |
| 乳製品向原料確保奨励金 |      |         |      |                 | 0.34   | -0.34 |      |
| 合計          |      |         |      | 100.97          | 100.83 | 0.14  |      |

## 12月分乳代支払単価

| 項目        | 単価(円)/(kg) % |
|-----------|--------------|
| 乳脂肪分①     | 37円40銭       |
| 無脂乳固形分②   | 51円47銭       |
| 生産者補給金③   | 6円44銭        |
| 集送乳調整金④   | 1円90銭        |
| 脂肪率       | 全道 4.06%     |
|           | 農協 4.15%     |
| 無脂固形分率    | 全道 8.82%     |
|           | 農協 8.76%     |
| 成分乳価      | 全道 97円21銭    |
| ①+②+③+④=⑤ | 農協 97円65銭    |
| 乳質乳価      | 全道 3円76銭     |
| ⑥         | 農協 3円75銭     |
| 乳代合計      | 全道 100円97銭   |
|           | 農協 101円40銭   |
| ⑤+⑥       | 差異 0円43銭     |



第10回

## 理事会の動き

平成30年12月26日(水)

### 議案

1. 組合員の法人設立に伴う取引開始について
2. 出資金の譲渡について
3. 共済規程の一部変更について
4. 平成30営農年度クミカン取引に係る貸越極度額及び供給限度額の変更について
5. 平成30営農年度クミカン精算に係る資金の貸付について
6. 平成31営農年度クミカン取引計画に係る貸越極度額及び供給限度額の認定について
7. 平成31営農年度機械利用組合クミカン取引計画に係る貸越極度額及び供給限度額の認定について
8. 平成31年度(30年補正)畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業に係る事業計画について
9. 平成30営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
10. 平成30年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業に係る資金の借入・貸付について(機械リース)
11. 生乳流通体制合理化推進事業に係る資金の借入・貸付について
12. 別海北部地区国営かんがい排水事業について

### 報告事項

1. 組合員の脱退について
2. 組合員の加入について
3. (一社)北海道農協経営審査協会による内部審査報告書について
4. 平成30年度免税軽油利用奨励金の支出について
5. 固定資産の取得について
6. 平成30年度11月末営農関連実績について
7. 平成30年度草地難防除雑草駆除対策事業に係る実績について
8. 平成30年度糞尿利活用草地整備改良事業に係る実績について
9. 平成30年度集荷路線除雪について
10. 平成30年度みらい塾修了式並びに平成31年度入講式の開式について

第11回

## 理事会の動き

平成31年1月25日(金)

### 議案

1. 出資金の減口について
2. 平成30年度自己査定に係る債務者区分判定方法について
3. 平成31年度(30年補正)畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業に係る事業計画について
4. 平成31営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
5. 平成31営農年度特定指導組合員及び月別限度管理組合員(案)について

### 報告事項

1. 組合員の脱退について
2. 平成30年度12月末財務状況について
3. 平成30年度12月末購買事業実績について
4. 平成30年度飼料奨励金(農協利用奨励・大口取引奨励)の支出について
5. 平成30年度JAバンク北海道冬期特別推進運動冬のキャンペーンの実績について
6. 畜産センターに係る中春別農協施設等有効活用検討委員会の答申について
7. 平成30年度12月末営農関連実績について
8. 平成30年営農年度クミカン精算状況について
9. 平成31営農年度階層区分について
10. 平成31営農年度信用限度について
11. 平成30年度自給飼料生産性向上対策事業に係る実績について
12. 特定疾病感染補償互助会の支払いについて

# 組合員の広場



作品名「海面を羽ばたくオオワシ」南澤三郎さん



作品名「眼光鋭いオオワシ」南澤三郎さん

今月号の組合員の広場は「写友 北風」の作品を掲載いたしました。  
組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。営農振興課・久末までお気軽にご連絡ください。